

# 道内における地デジの現状と取り組み

平成23年9月27日（火） 14：00～

総務省北海道総合通信局

総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）

総務省地デジチューナー支援実施センター

地デジ難視対策衛星放送受信設備整備支援センター

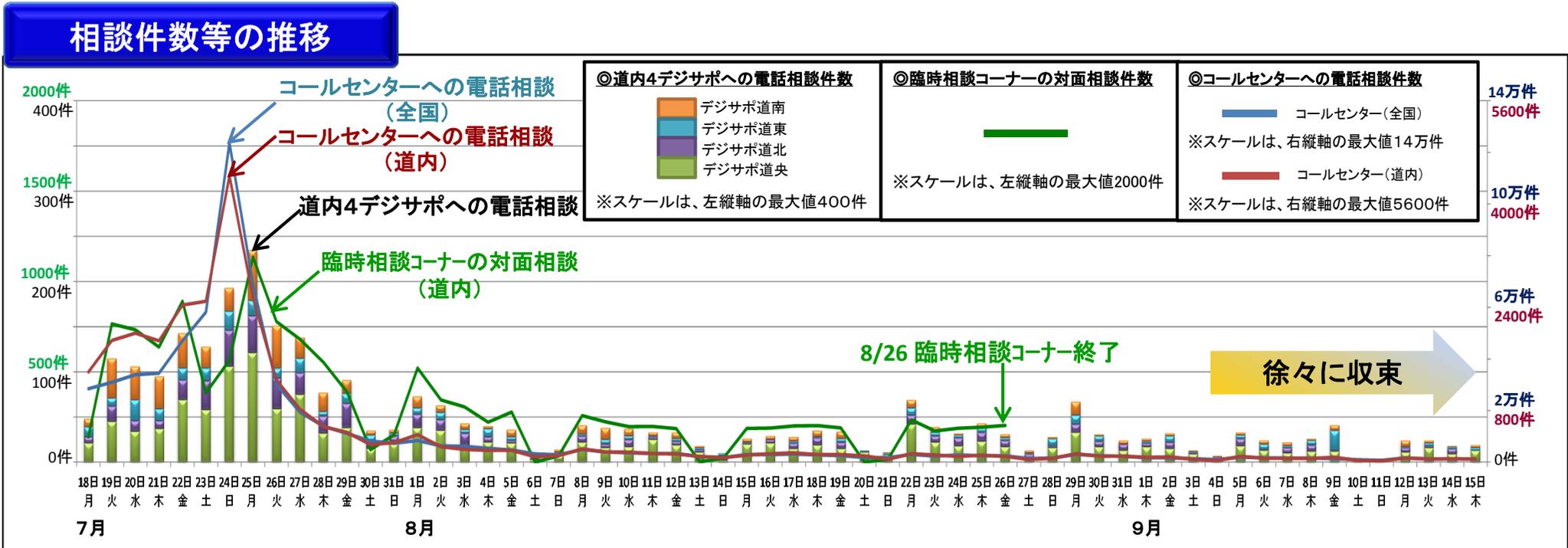
北海道地上デジタル放送推進協議会



# 目 次

I	道内視聴者に対する受信対策支援 アナログ放送終了後における対応状況	1
II	新たな難視地域の対策等	
1	新たな難視地区数・世帯数及び対策計画策定状況	2
2	北海道管内の新たな難視地区対策計画策定状況（平成23年7月24日現在）	3
3	北海道内のデジタル混信の状況	4
4	北海道内のフェージングが原因と疑われる事案	5
5	フェージングについて	6
III	共聴施設のデジタル化対応結果	
	辺地共聴施設・受信障害対策共聴施設	7





- コールセンターへの電話相談は、ピークの7月24日以降は収束傾向
- 道内4デジサポへの電話相談及び臨時相談コーナーの対面相談は、ピークの7月25日以降は収束傾向
- 主な相談内容
  - ・ 7月24日前後 支援チューナーの貸出し相談、受信相談(一部CH、全CH)
  - ・ 7月24日以降 受信相談(一部CH、全CH)、入手困難なチューナー・テレビの入手方法、障害共聴施設関連の相談(施設の撤去、受信可否)
- 臨時相談コーナーの対面相談で支援チューナーの貸出し、戸別訪問で各種相談に対応
- 臨時相談コーナー終了後も道内4デジサポでの電話相談と戸別訪問を継続



#### 1 道内における新たな難視地区数及び難視世帯数(平成23年7月24日現在)

	H23. 1月公表値 (注1)	H23. 3月末現在 (注2)	H23. 7月24日 現在(注3)
難視地区数	1,433地区	1,609地区	1,636地区
難視世帯数	15,287世帯	15,705世帯	15,837世帯
自治体数	141自治体	144自治体	144自治体



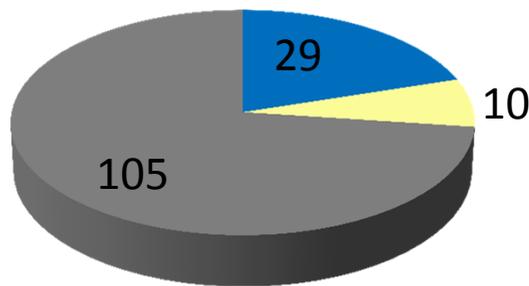
#### H23. 7月24日現在の世帯規模別一覧

1～5世帯	1,202地区	2,420世帯
6～10世帯	213地区	1,621世帯
11～20世帯	120地区	1,711世帯
21～30世帯	34地区	831世帯
31～50世帯	23地区	915世帯
51～100世帯	24地区	1,758世帯
101世帯以上	20地区	6,581世帯
合計	1,636地区	15,837世帯

(注1) 平成23年1月21日総務省報道発表資料「地上デジタル放送難視聴地区対策計画(第4版)」の公表の数値から  
 (注2) 平成23年4月27日「地上デジタル放送難視聴地区対策計画(第5版)」の公表の数値から  
 (注3) 平成23年8月31日「地上デジタル放送難視聴地区対策計画(第6版)」の公表の数値から

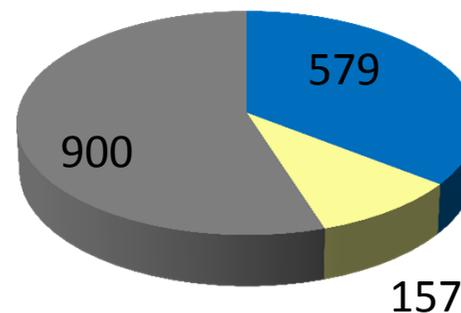
#### 2 道内における新たな難視地区の対策計画策定状況(平成23年7月24日現在)

①自治体別対策計画策定状況  
(自治体数 144自治体)



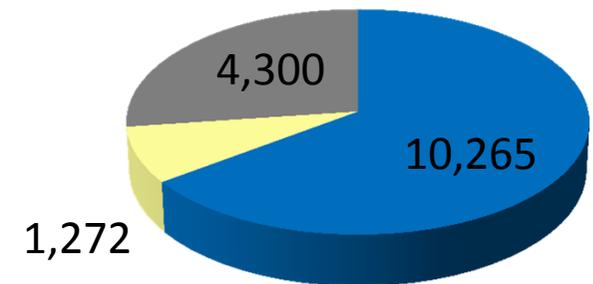
■ 対策完了  
 ■ 恒久対策確定のみホワイトリストあり  
 ■ 恒久対策未定ホワイトリストあり

②地区数別対策計画策定状況  
(難視地区数 1,636地区)



■ 対策完了  
 ■ 恒久対策確定ホワイトリスト  
 ■ 恒久対策未定ホワイトリスト

③世帯数別対策計画策定状況  
(難視世帯数 15,837世帯)



■ 対策完了  
 ■ 恒久対策確定ホワイトリスト  
 ■ 恒久対策未定ホワイトリスト

\* 「地デジ難視対策衛星放送リスト(ホワイトリスト)」は、町丁目単位となるため地区数の表現が異なります。

## II 新たな難視地域の対策等

### 2 北海道管内の新たな難視地区対策計画策定状況 (平成23年7月24日現在)



#### 平成23年6月末現在の数値

〔対策手法別〕

<b>新たな難視地区数・世帯数</b> 1,636地区 15,834世帯	①中継局の設置	6地区(911世帯) 〔3局所〕
	②有線共聴施設新設	86地区(892世帯)
	③無線共聴施設新設	39地区(5,582世帯)
	④共聴加入	8地区(17世帯)
	⑤CATV加入	343地区(3,525世帯)
	⑥高性能アンテナ対策	254地区(608世帯)
	⑦(仮)衛星対策	900地区*(4,299世帯)
合計 1,636地区(15,834世帯)		

対策計画策定数	1,636地区 15,834世帯
対策検討中	なし

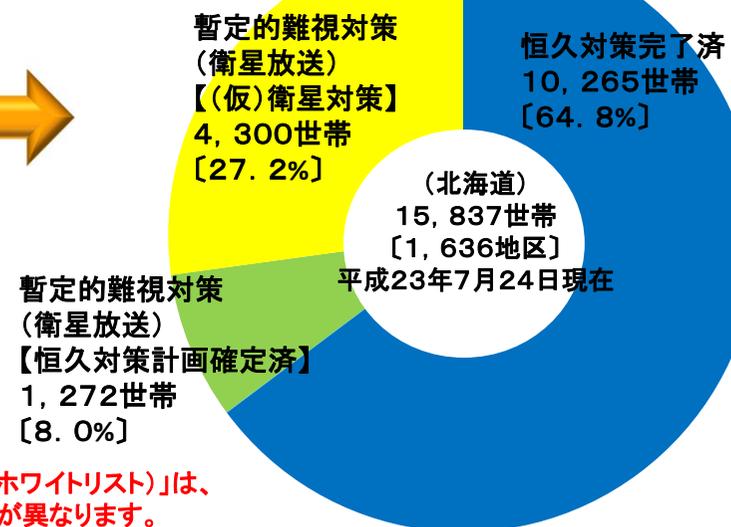
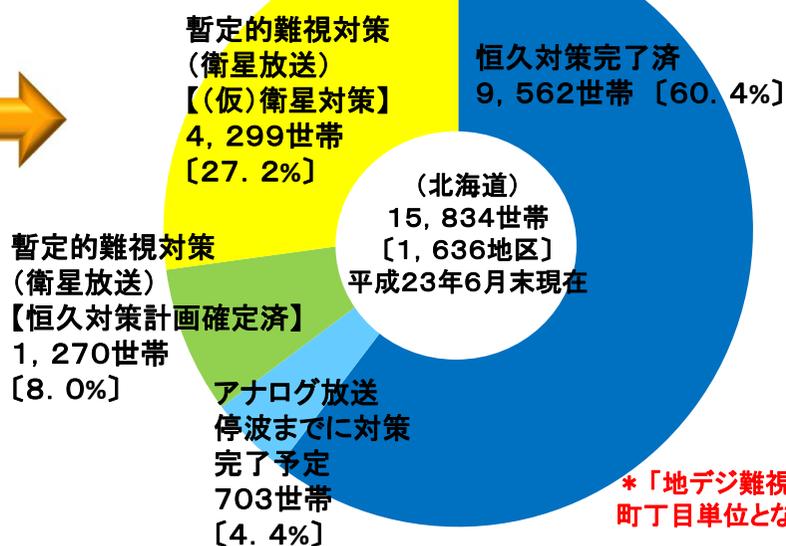
#### 平成23年7月24日現在の数値

〔対策手法別〕

<b>新たな難視地区数・世帯数</b> 1,636地区 15,837世帯	①中継局の設置	6地区(911世帯) 〔3局所〕
	②有線共聴施設新設	86地区(892世帯)
	③無線共聴施設新設	39地区(5,582世帯)
	④共聴加入	8地区(17世帯)
	⑤CATV加入	343地区(3,525世帯)
	⑥高性能アンテナ対策	254地区(610世帯)
	⑦(仮)衛星対策	900地区*(4,300世帯)
合計 1,636地区(15,837世帯)		

対策計画策定数	1,636地区 15,837世帯
対策検討中	なし



\*「地デジ難視対策衛星放送リスト(ホワイトリスト)」は、町丁目単位となるため地区数の表現が異なります。



	地区	原因	影響規模(公表数)	進捗状況、対策の方向性等
1	旭川市西神楽	札幌局(希望局)に対する旭川局からの混信(常時混信)	24世帯	H22.6.8 対策計画公表・公示済み。 共聴施設新設工事完了済。
2	北見市留辺蘂町花園	若佐局(希望波)に対する網走局の妨害(常時混信)	1施設	H22.11.15 対策計画公表・公示済み。 高性能アンテナ対策工事完了済。
3	上士幌町郊外及び足寄町の一部	帯広局(希望波)のマルチパスによる品質劣化(常時混信)	40世帯で算出	H22.11.15 対策計画公表・公示済み。(H23.1.7足寄町の一部を追加) 高性能アンテナ対策等工事完了済。(アナログ放送終了までに対策ができなかった一部世帯は現在、対応中。)
4	幕別町途別	帯広局(希望波)のマルチパスによる品質劣化及び札幌局妨害(常時混信(季節等の変動あり))	18世帯	H22.11.15 対策計画公表・公示済み。 高性能アンテナ対策等工事完了済。(アナログ放送終了までに対策ができなかった一部世帯は現在、対応中。)
5	日高町、新冠町、新ひだか町の一部	静内局(希望波)に対する室蘭局の妨害(フェージング混信)	2, 200世帯で算出	H23.1.7 対策計画公表・公示済み。 暫定的難視対策衛星放送の対応中。H23年度以降、静内デジタル中継局のリパック対策実施。
6	上富良野町十勝岳温泉	旭川局(希望波)に対する札幌局の妨害(常時混信)	2施設	H23.1.7 対策計画公表・公示済み。 暫定的難視対策衛星放送の対応中。H23年度、再度受信点調査を行い、高性能アンテナ対策実施。
7	根室市瑤瑤瑠ほか	根室局(希望波)に対する釧路局の妨害(フェージング混信)	300世帯で算出	H23.1.18 対策計画公表・公示済み。 暫定的難視対策衛星放送の対応中。H23年度、長期電測調査を実施し恒久対策検討。
8	東川町旭岳温泉	旭川局・札幌局間の妨害(常時混信)	10施設	H23.2.17 対策計画公表・公示済み。 CATV加入工事により対策工事完了済。
9	岩見沢市市街地	デジタルタクシー無線による混信	20世帯で算出	H23.2.17 対策計画公表・公示済み。 受信設備へのフィルター挿入により対策完了済。

#### <デジタル混信とは>

- ・他の電波の影響により地デジ放送を良好に視聴できない受信障害現象のことです。
- ・他の地デジ放送波(海上伝搬などのフェージング、飛び込みなど)、デジタルタクシー波などが主な原因で、全国の地上デジタル放送推進協議会において、発生実態を把握しつつ対策が進められています。
- ・総務省テレビ受信者支援センター(デジサポ)ではデジタル混信を解消するための支援策を実施しており、公表された対策計画は対象となっています。
- ・支援策は、送信チャンネルの変更(リパック)、高性能アンテナ対策などがあります。

## Ⅱ 新たな難視地域の対策等

### 4 北海道内のフェージングが原因と疑われる事案



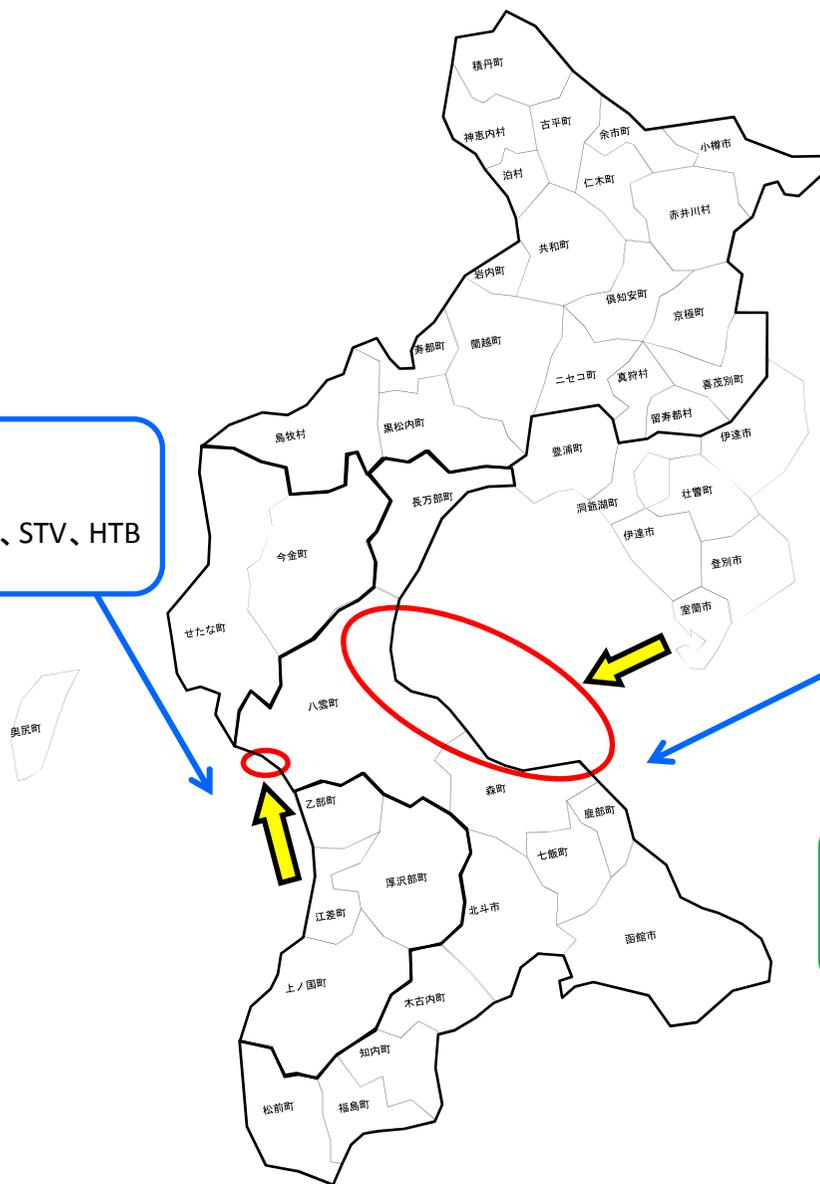
#### 【八雲町(熊石)】

- ・受信局: 江差局
- ・障害発生チャンネル: NHK教育、STV、HTB

#### 【八雲町(市街地)、森町】

- ・受信局: NHK総合 渡島局、NHK教育、民放5社 室蘭局
- ※渡島局、室蘭局ともに室蘭市内の測量山に置局。NHK総合は、道南向けに道南ローカル放送番組を送出するために渡島局を置局している。
- ・障害発生チャンネル: NHKのみ、全チャンネルなど申告により異なる。

八雲町、森町については、現在、長期電測を実施しており、その調査結果により、原因の特定及び対策の検討を進めていきます。



## <フェージングとは>

電波の異常伝搬による受信障害の原因となるもので、春から夏にかけて稀に発生します。

テレビの送信所から受信点までの距離が比較的長い場合に、電波が伝搬する通路又は通路上の大気の媒質が気象条件などにより変動することによって、受信電波の強さが変化し、安定して放送波の受信ができなくなる現象です。(※八雲町、森町での障害原因と考えられます。)

また、フェージングの一種として、気温や水蒸気の量により大気中の電波の屈折率が大きくなり、地表面(海面)との反射を繰り返すことにより、通常では届かない遠方へ電波が届くようになる事象をラジオダクトと呼びますが、このダクトにより運ばれた電波がテレビに混信して受信障害が発生します。(※デジタル混信である日高方面(日高町、新冠町、新ひだか町)、根室市瑛瑤瑠他での障害原因と考えられます。)



## 受信障害の特徴

症状は、アナログ放送では、ビート障害、スノーノイズの発生などでした。

デジタル放送では、受信電界の低下、または、混信によるブロックノイズの発生、受信不能状態(ブラックアウト)の障害がほとんどです。

障害発生時間は、短いときも長いときもあり、時間の経過とともに比較的穏やかに変化しますが、数時間以内に消滅することがほとんどです。

電気雑音や受信ブースターの不具合などによる受信障害は、ご近所などごく限られた範囲に発生しますが、異常伝搬による障害は比較的広範囲に発生します。

## <参考>

道内では、日高地区(日高町、新冠町、新ひだか町)、根室市瑛瑤瑠他にて、フェージングによる混信が発生していますが、原因が判明していることからデジタル混信として既に対策を実施しています。

恒久対策は今後行うことから、現在、該当地区の方には暫定的難視対策衛星放送により地デジを視聴いただいています。

#### 辺地共聴施設(自主共聴)

●平成23年7月20日全施設デジタル化対応済み

総施設数	対策済	
	改修・ケーブルテレビ編入等	衛星SN(地デジ難視対策衛星放送)による暫定対策
357	348	9

#### 受信障害対策共聴施設

●平成23年7月21日全施設デジタル化対応済み

	総施設数	世帯数	デジタル化対応状況				
			対応済み施設数	世帯数	未対応施設数	世帯数	
デジサポ	道央地域	4,656	155,149	4,656	155,149	0	0
	道北地域	555	14,462	555	14,462	0	0
	道東地域	413	14,253	413	14,253	0	0
	道南地域	310	4,598	310	4,598	0	0
国・地方公共団体等	1,346	84,567	1,346	84,567	0	0	
合計	7,280	273,029	7,280	273,029	0	0	

## 本資料についてのお問い合わせ先

北海道総合通信局 ☎ 011-709-2311

I 道内視聴者に対する受信対策支援

☆☆☆ デジタル放送受信者支援室 神原（内線4670）

II 新たな難視地域の対策等

☆☆☆ 情報通信部放送課 中屋敷（内線4662）

III 共聴施設のデジタル化対応結果

☆☆☆ 情報通信部有線放送課 太田（内線4672）

本説明会について

☆☆☆ 総務部総務課企画広報室 斎藤（内線4682）